



2018年 12月17日
神島化学工業株式会社
代表取締役社長 池田和夫
(証券コード:4026)

2019年4月期 第2四半期 決算説明資料
～決算概要～



I	2019年4月期 第2四半期 業績	2	III	中期経営計画	14
	1. 業績概要	3		1. 計画概要	15
	2. 営業利益分析	4		2. 業績計画	16
	3. セグメント別業績	5		3. 化成品事業	17
	4. 財政状態	8		4. 窯業系建材事業	20
	5. キャッシュ・フローの状況	9			
II	2019年4月期 業績予想	10	IV	株主還元	23
	1. 業績予想	11		1. 株主還元	24
	2. 下期の取組み	12	V	補足資料	25
				1. 当社について	26
				2. テクニカルセンター建設	37
				3. 原材料市況価格の推移	38
				4. 環境への取組み	40

注意事項

本資料には、神島化学工業の業績に関して、歴史的事実および将来の見通しが含まれています。これらの見通しは将来の業績を完全に見通したものであるとは限らず、将来の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素が含まれており、実際の業績は様々な要素によりこれらの見通しとは異なることがあります。

I 2019年4月期 第2四半期 業績

(単位:百万円)

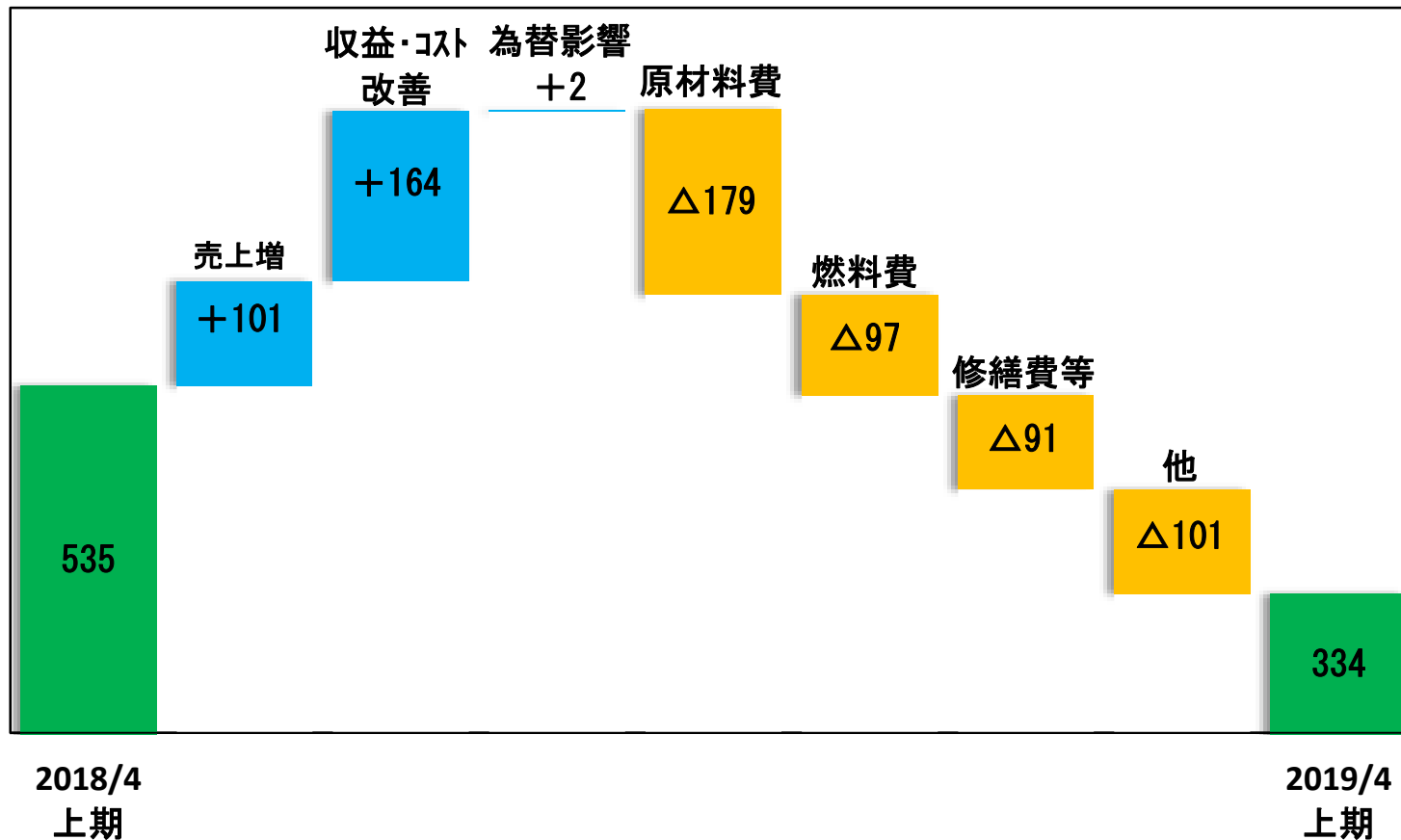
	2018/4期 上期実績	2019/4期 上期実績	前年同期比		2019/4期 上期予想*	予想比		
			増減金額	増減率		増減金額	増減率	達成率
売上高	10,679	11,103	+423	+4.0%	10,900	+203	+1.9%	101.9%
建材	7,319	7,579	+260	+3.6%	7,400	+179	+2.4%	102.4%
化成品	3,360	3,523	+163	+4.9%	3,500	+23	+0.7%	100.7%
営業利益	535	334	△201	△37.5%	310	+24	+8.1%	108.1%
内 建材	123	144	+20	+16.8%	47	+96	+203.4%	303.4%
内 化成品	701	469	△232	△33.1%	552	△82	△15.0%	85.0%
経常利益 (経常利益率)	500 (4.7%)	309 (2.8%)	△191 —	△38.2% —	280 (2.6%)	+29 —	+10.4% —	110.4% —
特別損益(△損失)	△191	△17	+174	—	—	—	—	—
四半期純利益	221	209	△12	△5.4%	170	+39	+23.3%	123.3%
減価償却費	489	499	+10	+2.1%	517	△17	△3.3%	—

※[2018.6.12]

- ◇ 住宅市場は、上期の新設住宅着工戸数が49.1万戸（前期比△1.1%）と、やや低調に推移
- ◇ 売上高は、建材事業の都市型高層ビル向け非住宅耐火パネルが好調、化成品事業も国内を中心に増収
- ◇ 尚、予想比では、売上高、利益ともに概ね予想どおりの進捗

営業利益の増減要因（対前年同期比）

（単位：百万円）



- ◇ 営業利益は、売上増、収益・コスト改善に注力するも、原材料費、燃料費アップ、修繕費の増加等により減益
 ー但し、原材料費アップは、収益・コスト改善により概ね吸収

I-3.セグメント別業績【窯業系建材事業】

Konoshima Chemical Co., Ltd.

(単位:百万円)

	2018/4期 上期実績	2019/4期 上期実績	前年同期比		2019/4期 上期予想*	予想比	
			増減金額	増減率		増減金額	増減率
売上高	7,319	7,579	+260	+3.6%	7,400	+179	+2.4%
住宅売上高	6,114	6,050	△64	△1.0%	6,032	+18	+0.3%
内 高級軒天ボード	696	821	+125	+18.0%	—	—	—
非住宅売上高	1,205	1,529	+324	+26.9%	1,368	+161	+11.8%
(非住宅売上高比率)	16.5%	20.2%	—	—	18.5%	—	—
セグメント利益	123	144	+20	+16.8%	47	+96	+203.4%

*[2018.6.12]

- ◇ 売上高は、採算性重視の方針により住宅売上高は減少するも、全体では増加
- ◇ 戦略的製品である住宅用高級軒天ボード（ラフォーレティンバー）は、引続き好調
- ◇ 非住宅売上高は、都市型高層ビル需要の本格化により大幅増収（+26.9%）
→非住宅売上高比率+3.7%向上（16.5%→20.2%）
- ◇ セグメント利益は、原材料費、燃料費のコストアップを、売上増・収益改善で打返し増益
- ◇ 尚、予想比では、非住宅需要の本格化による売上高の伸長により、セグメント利益は倍増

〈実績比較〉

(単位:百万円)

	2018/4期 上期実績	2019/4期 上期実績	前年同期比	
			増減金額	増減率
売上高	3,360	3,523	+163	+4.9%
内 海外売上高	1,518	1,473	△44	△2.9%
(海外比率)	45.2%	41.8%	—	—
セグメント利益	701	469	△232	△33.1%

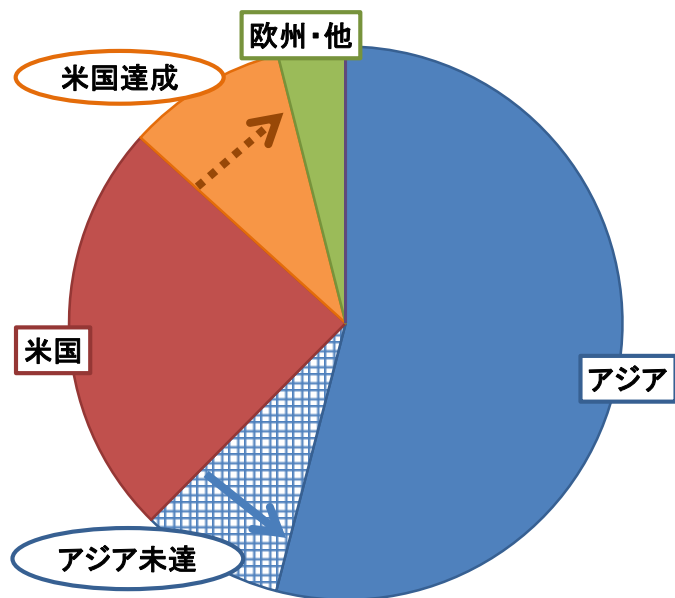
- ◇ 売上高は、国内酸化マグネシウムを中心に増収
- ◇ 海外売上高は、米国向け医薬食添用酸化マグネシウムは好調であったが、難燃水酸化マグネシウムは製造設備不調による販売調整により減収
- ◇ セグメント利益は、原材料費・燃料費のコストアップに対し、売上増、収益改善を実施したが、全額吸収するまでには至らず、減益

〈予想比較〉

(単位:百万円)

	2019/4期上期		予想比	
	予想 [2018.6.12]	実績	増減金額	増減率
売上高	3,500	3,523	+23	+0.7%
内 海外売上高 ※グラフ	1,545	1,473	△71	△4.6%
(海外比率)	44.1%	41.8%	—	—
セグメント利益	552	469	△82	△15.0%

※予想海外売上高（網掛けは未達部分）



- ◇国内売上高は増加したが、海外売上高は未達
 - ・米国は酸化マグネシウムの拡販により予想を大幅達成
 - ・アジアは設備不調による販売調整から一時的に難燃水酸化マグネシウムが未達
 - 下期は、既に改修済みの為、回復の見込み
 - 今後、拡張設備導入の予定
- ◇セグメント利益は予想比未達
 - ・原材料のコストアップや販売価格値上げは概ね予想どおりだったが、予想以上の燃料価格の高騰により未達

(単位:百万円)

	2018/4期 期末	2019/4期 上期末	前期末比
現金及び預金	933	896	△36
売上債権	4,665	4,924	+258
たな卸資産	3,984	3,601	△383
建物、機械装置等	6,269	6,715	+446
資産計	19,393	19,679	+286
仕入債務	3,150	2,881	△269
借入金	5,144	5,680	+535
負債計	12,635	12,882	+246
純資産計	6,757	6,796	+39
負債・純資産計	19,393	19,679	+286
(自己資本比率)	34.8%	34.4%	—

Ⅱ 2019年4月期 業績予想

通期の業績予想に変更はありません

(単位:百万円)

	2018/4期 通期実績	2019/4期 通期予想※	内 上期実績	実績比	
				金額	増減率
売上高	21,604	22,000	11,103	+395	+1.8%
建材	14,858	14,600	7,579	△258	△1.7%
化成品	6,746	7,400	3,523	+653	+9.7%
営業利益	776	810	334	+33	+4.4%
経常利益 (経常利益率)	700 (3.2%)	730 (3.3%)	309 (2.8%)	+29 —	+4.2% —
四半期(当期)純利益	468	530	209	+61	+13.1%
減価償却費	995	1,067	499	+71	+7.2%

※[2018.6.12]

- ◇ 建材事業売上高は、引続き好調な都市型高層ビル向けの非住宅耐火パネル需要を取込むも、住宅分野が採算性重視の戦略により減収
- ◇ 化成品事業売上高は、上期に難燃水酸化マグネシウムの製造設備の不調により販売調整したものの、既に改修は完了しており、下期は回復見込み
- ◇ 損益面は、当初より原材料費の上昇によるコストアップを見込んでおり、売上高増加、採算性向上等により増益予想

成長エンジンとして、将来性のある技術分野開拓へ

◇ 医薬・食料品分野強化

→錠剤加工性など特性改良して拡販
医薬製造管理(GMP)ハード・ソフトの両面強化

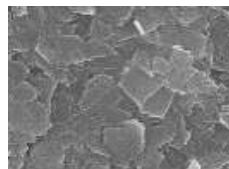
◇ 新機能性材料の展開

→コンバーティングテクノロジー総合展
「新機能性材料展 2019」2019.1.30-2.1出展予定

(商品)

単分散板状
炭酸マグネシウム

(電子顕微鏡)



(特徴)

ガスバリア

◇ 新技術分野への挑戦

→研究者の物質・材料研究機構(NIMS)へ派遣
～ソフト化学、複合酸化物、有機無機HV etc

住宅着工減にも負けない、勝ちに行く取組み

《 非住宅分野 》

◇ パネル事業

- ・引き続き都市型高層ビル需要の取込み
- ・新耐火基準対応材による販路拡大
- ・コストアップ分の販売単価への転嫁による採算性向上

「木造建築最高レベルの高性能 遮音床」

※  GOOD DESIGN AWARD
2018年度受賞



◇ ラムダ事業

- ・上期に受賞した※2018年グッドデザインの遮音床の積極的拡販
- ・工場の施工講習による、労働力の確保と施工品質の向上

《 住宅分野 》

- ◇ プライケイカル→高採算拡販に注力
- ◇ 高級軒天ボード→新柄の追加投入により、更なる拡販
- ◇ 野縁レス工法やプレカット対応品等省施工品の拡販→職人不足対応

Ⅲ 中期経営計画

・中期的な事業環境認識

国内住宅建材業界は、中期的には、少子高齢化と人口減少により縮小傾向

・中期の経営戦略

(1) 基本方針

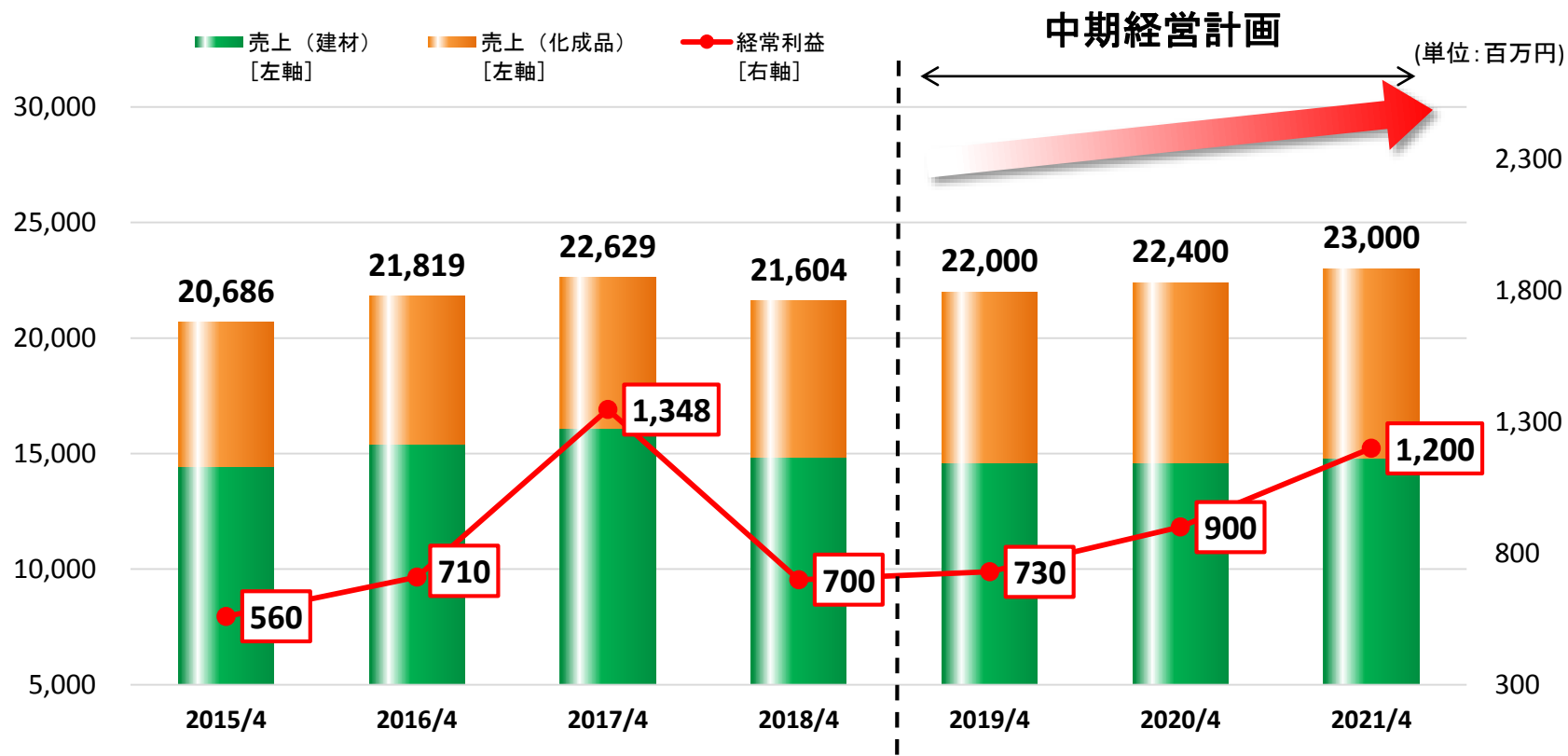
成熟産業である「住宅分野」から、現有事業の成長産業である「化成品（マグネシウム）分野」への事業転換、及びアーリーステージの「セラミックス分野」の育成

(2) 基本戦略

- ① 建材事業から化成品事業への業態変換
- ② セラミックス事業の本格的事業化
- ③ 住宅から非住宅へのエネルギーシフト
- ④ 住宅分野は、高級化路線

Ⅲ-2.業績計画

Konoshima Chemical Co., Ltd.



経常利益率	2.7%	3.3%	6.0%	3.2%	3.3%	4.0%	5.2%
自己資本比率	28.3%	29.1%	33.5%	34.8%	34.5%	36.4%	39.4%
総資産	18,253	18,936	19,217	19,393	20,640	20,790	20,800
純資産	5,159	5,515	6,446	6,757	7,160	7,600	8,260
設備投資額	1,097	1,423	1,646	1,219	1,780	1,100	1,100
研究開発費	549	623	690	689	700	715	720

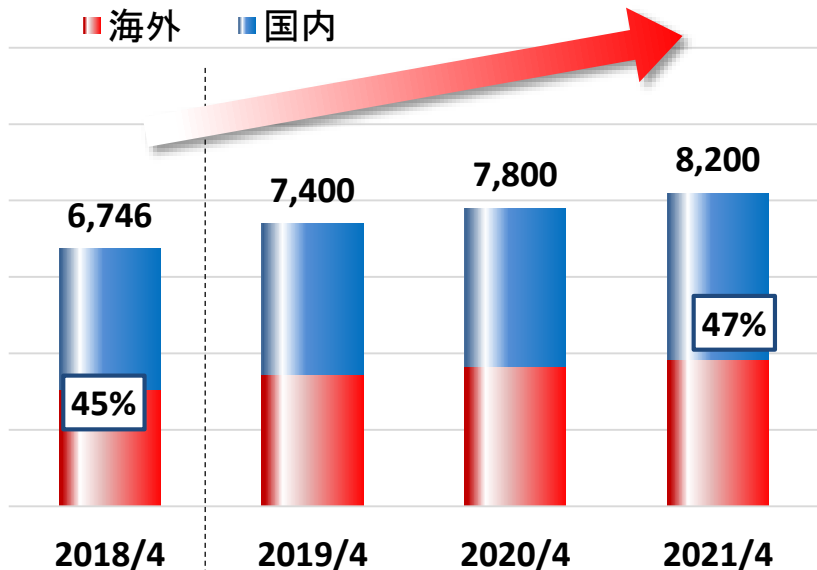
①化成品事業(マグネシウム)は引続き当社の成長エンジン

化成品事業売上

(単位:百万円)

(1) 海外売上高比率

■海外 ■国内



(2) 全体に占める化成品売上高比率

年度	2018/4	2019/4	2020/4	2021/4
比率	31%	34%	35%	36%

《 中期計画の概要 》

- ・当初計画より出遅れているものの、引き続き海外で酸化マグネシウムの拡販に注力
- ・更に、機能性新製品を新規市場へ投入
- ・海外売上高比率も約50%目標に・・・(1)
- ・全体に占める化成品売上高比率は、現状の3割から4割代へ拡大・・・(2)
- ・海外営業体制の更なる強化 (ダイレクトマーケティング・営業人員増員)
- ・将来へ向けての新技术の開発 (研究機関への人員派遣)



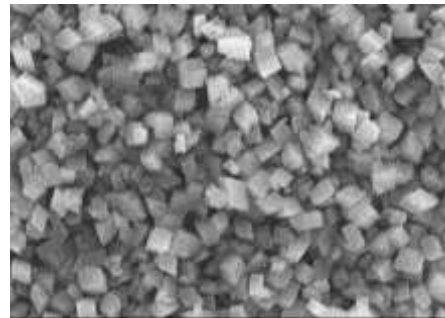
新たな機能性新製品の商品化

電子顕微鏡

使用用途例

〔合成ベーマイト〕

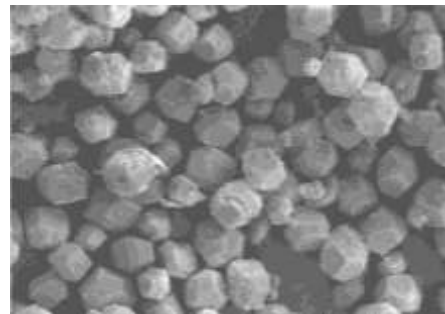
(特徴)
耐酸性、耐アルカリ性



エコ電線、エンプラ部品

〔合成マグネサイト〕

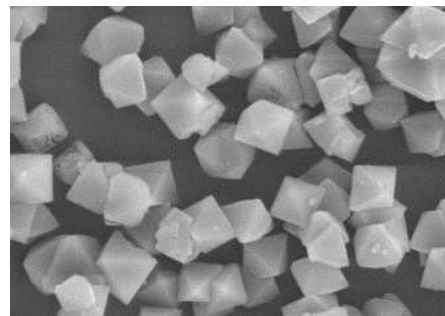
(特徴)
耐熱伝導性



EV車エンプラ部品、放熱シート

〔合成タイチャイト〕

(特徴)
透明性維持



樹脂添加剤、研磨剤

②セラミックス事業は2019年4月期より本格的事業化へ

研究開発段階

事業化への準備

大量生産体制の構築

YAGセラミックス

Yttrium Aluminium Garnet
(イットリウム・アルミニウム・ガーネット)

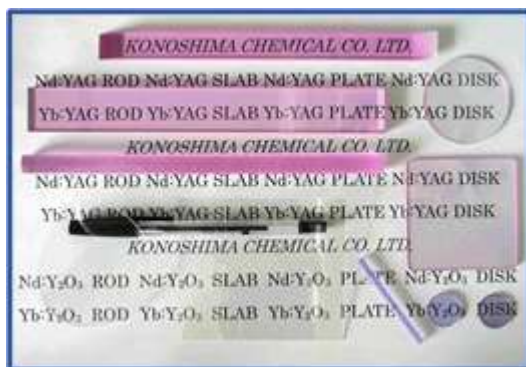
近年大型セラミックス使用の大出力
レーザー開発が活発化。
開発拠点の増加、
高出力化による使用量の拡大

蛍光体

外部からのエネルギーを光に変換
白色LEDをはじめとする照明や
ディスプレイ等に使用

蓄冷材

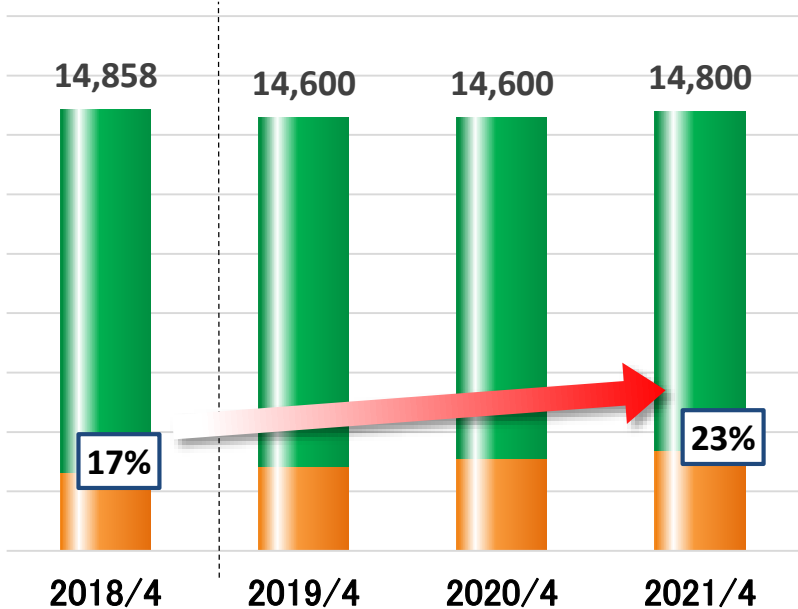
マイナス269°C(4ケルビン)の
極低温を維持
医療機器MRI等の超電導磁石を
用いる機器に使用



③住宅分野から非住宅分野（公共・商業施設等）へ転換

窯業系建材事業売上

■住宅 ■非住宅 (単位:百万円)



17%	19%	21%	23%
非住宅比率			

《 中期計画の概要》

- ・ 非住宅比率は当初計画を下回るが、実額ベースでの拡大を企図
- ・ 強みを有する耐火パネルの都市型高層ビル等への更なる本格的取り込み
- ・ ラムダとの技術交流による新製品（遮音板）の拡販
- ・ ケイカル板の非住宅分野への販路拡大

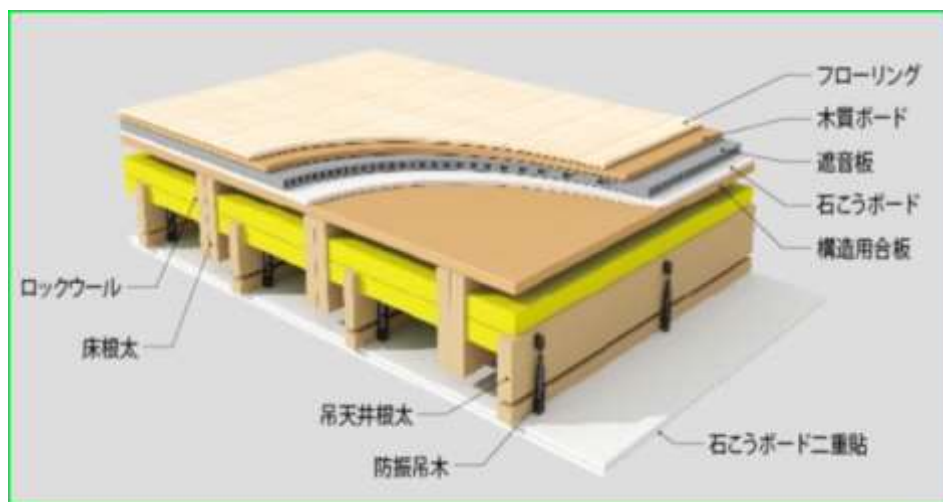


④住宅分野は、採算性重視、高級化路線

- ・ 強みの軒天ボード・破風板は、高級品化（ラフォーレティンバー・ラフォーレグレイス）を更に促進
⇒ 特に好評な高級軒天ボードは、新柄商品も加え、新工法も検討し、更に拡販
- ・ 収益商品であるプライケイカルの拡販へ注力
- ・ 防火サイディングは、採算性を重視した海外輸出に本格的参入



遮音板 重量衝撃音を低減



押出遮音板

重量衝撃音とは・・・

重くかつ柔らかい衝撃で、子供が飛びはねる時などに発生する振動
主として中・低音域の遮断性能に関する音響性能

遮音板を施工することで、LH45※を達成

※JIS A1418 衝撃特性2における性能

IV 株主還元

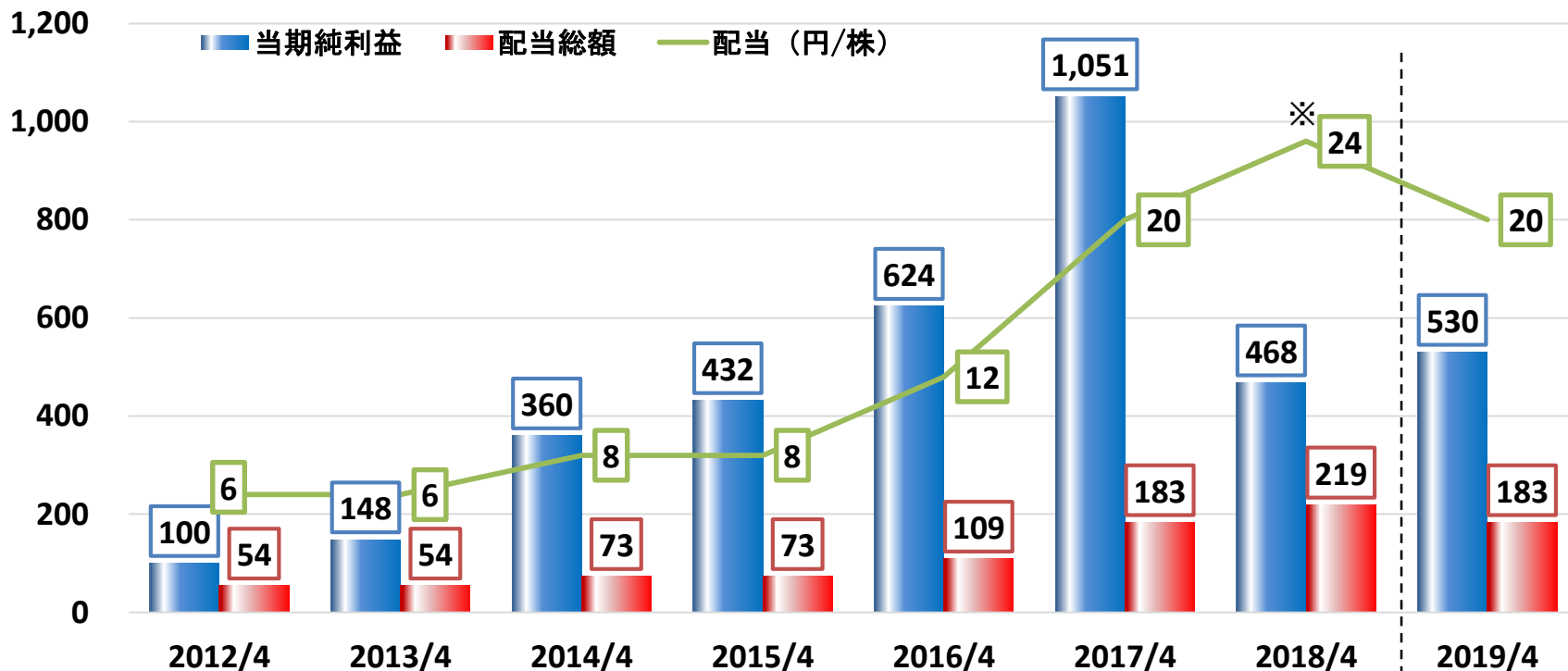
◆ 配当方針

- ・ 利益水準、配当性向及び内部留保の確保等を総合的勘案

◆ 配当予想

- ・ 2019年4月期は、年間配当20円を予想

(単位:百万円)



配当性向	54.9%	37.1%	20.4%	16.9%	17.6%	17.4%	46.9%	34.5%
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

※内4円は、創業100周年記念配当

V 補足資料

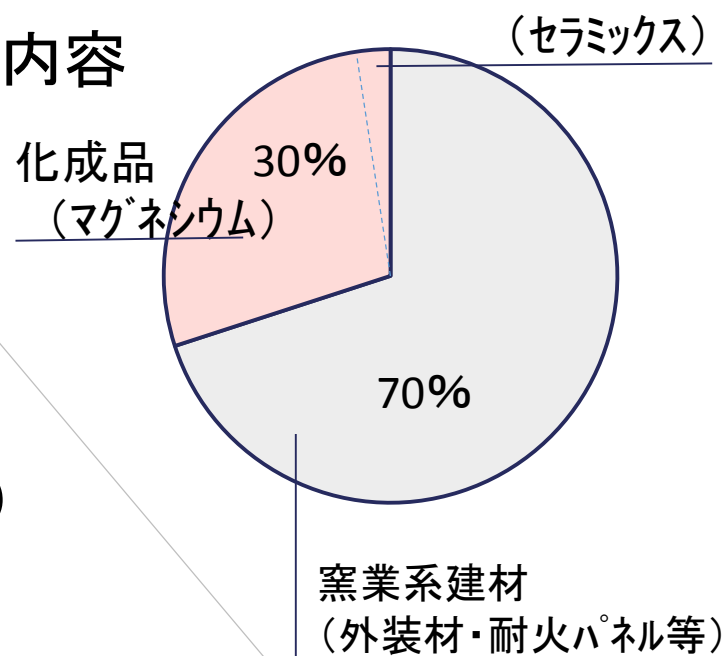
経営の基本方針

無機化学の可能性を追求し

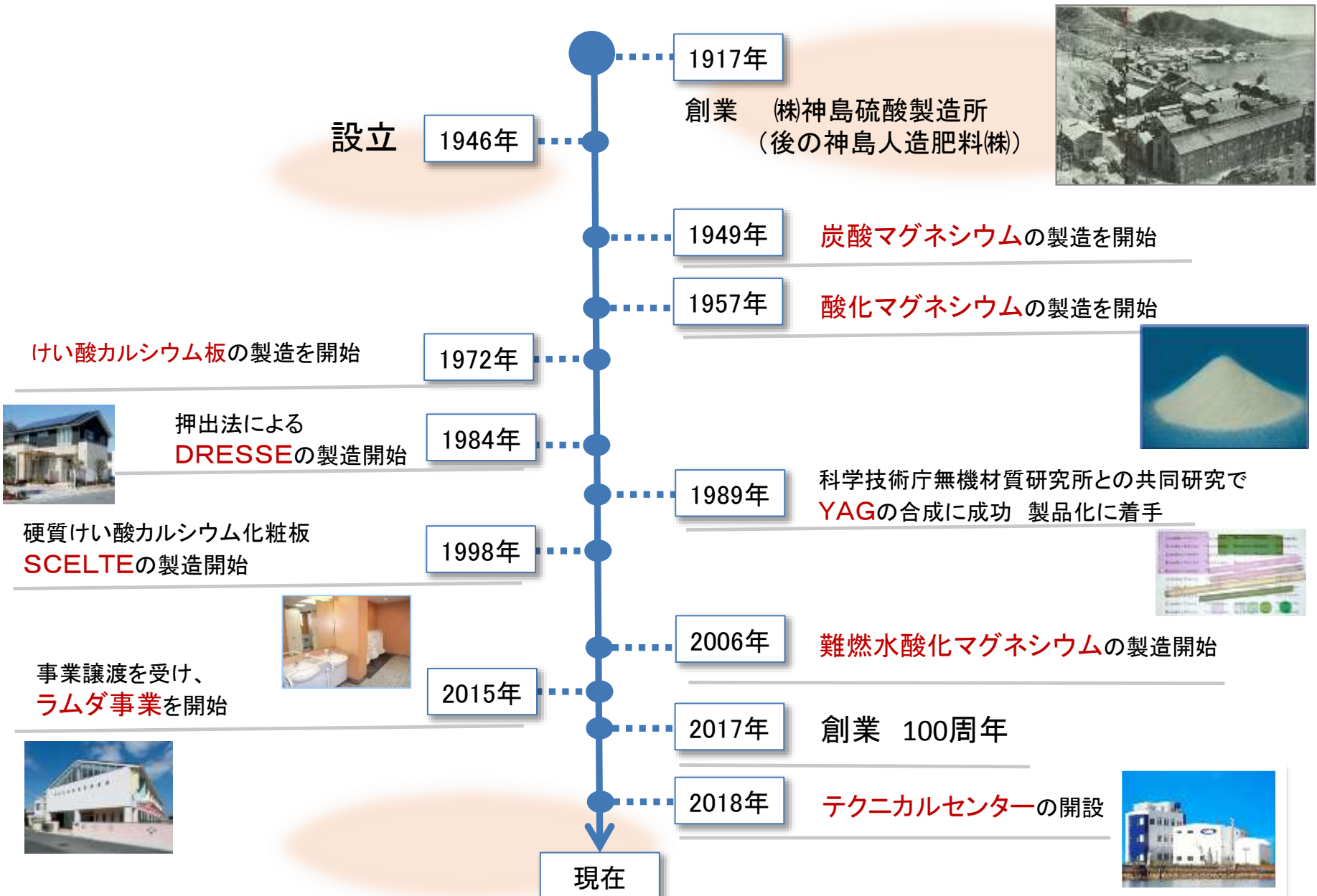
**「顧客満足を第一に考え、
より広く深く社会に貢献していく」**

創業 1917年6月
設立 1946年3月
資本金 13億20百万円
従業員 624名
売上高 216億4百万円（2018年4月期）
代表者 代表取締役社長 池田和夫

事業内容

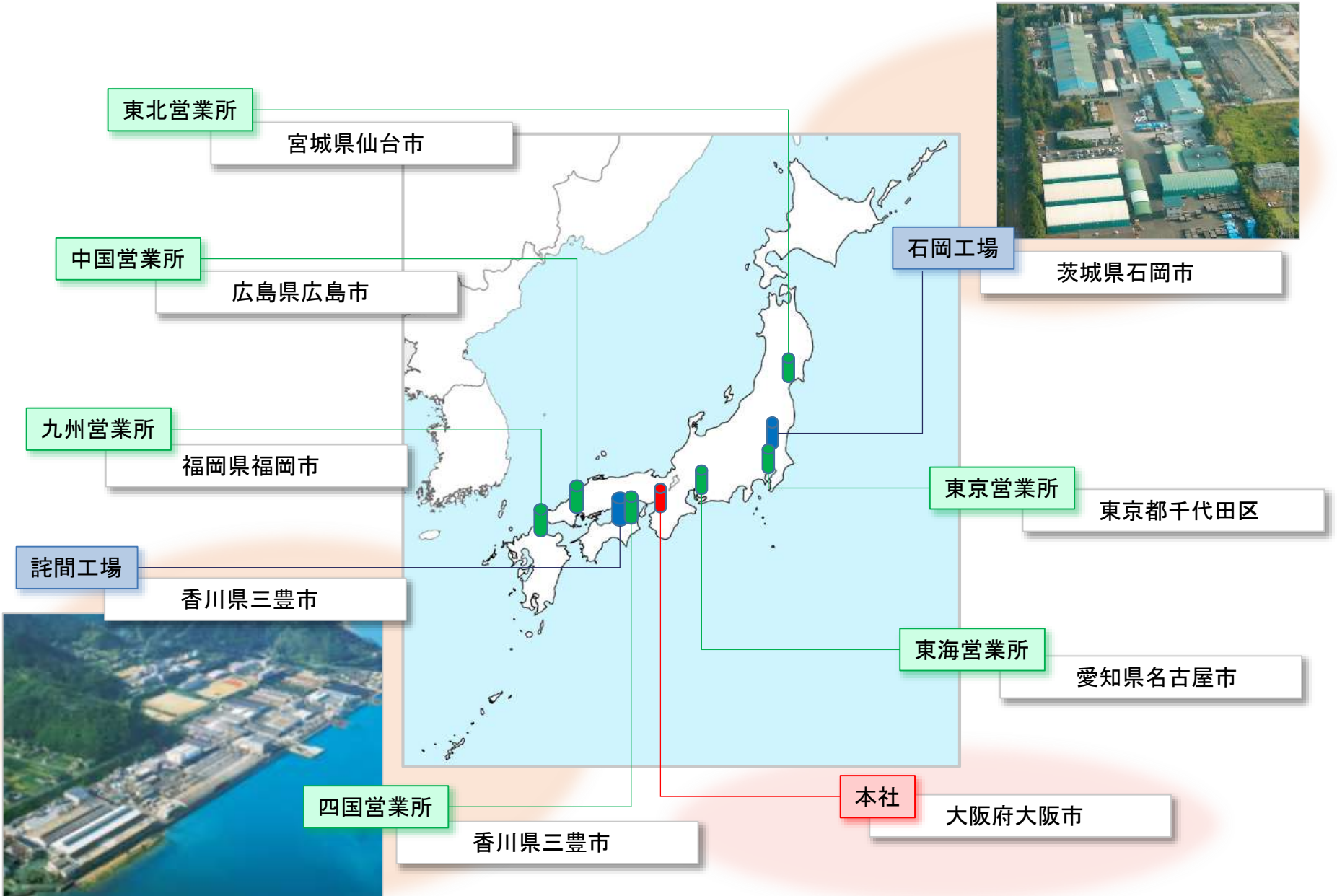


設立



V-1.当社について【拠点】

Konoshima Chemical Co., Ltd.

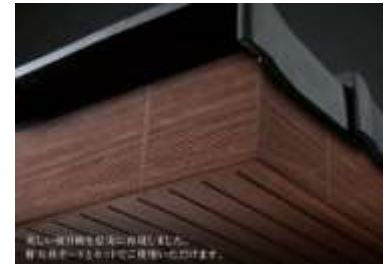


・住宅分野（外装）



不燃外部造作材（破風板）

寒冷地域の凍害にも強い「押出製法」の外部造作材
GOOD DESIGN AWARD 2015 受賞



不燃軒天ボード

木目柄、布目柄など多彩なバリエーションの
軒天ボード
GOOD DESIGN AWARD 2015 受賞



防火サイディング

18mm厚以上に特化した深彫りで本物志向の高級外壁材
職人の高齢化に対応した省施工「プレカット」対応



・住宅分野（内装）

SCELTE
(シエルテ)



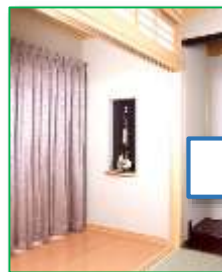
トイレ



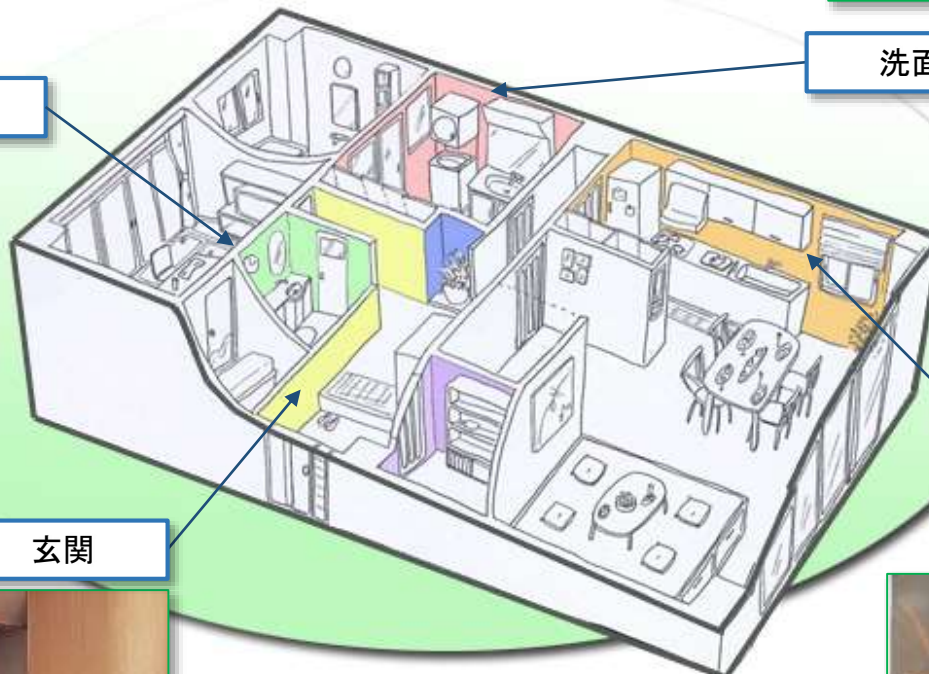
洗面



玄関



その他



キッチン



・非住宅分野(外装)

LAMBDA ラムダ

- ・ 高強度により、最高31mの中高層の建物にも対応
- ・ 塗装によりメタリックやパールの光沢感、コンクリートの風合



DRESSE PREMIUM
〈ドレッセプレミアム〉

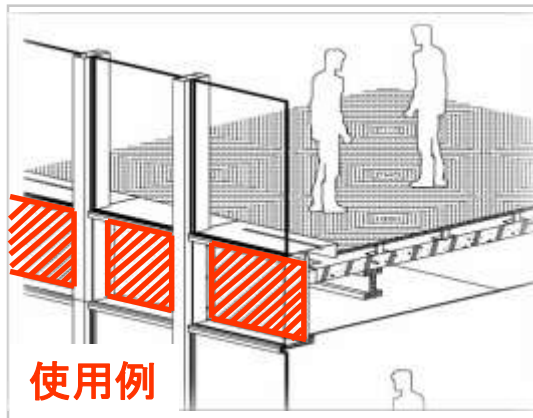
DRESSE
〈ドレッセ〉



・非住宅分野(外装)

ソニックライトパネルNAS

- ・中・高層ビルのカーテンウォール工法分野でシェア独占
国内最大サイズのパネルを完全プレカット



虎ノ門ヒルズ

(内装)



- ・表面の鏡面仕上げ、抗菌性の高い内装用化粧
パネル完全な『ゼロホルムアルデヒド』ボード




「海水法」により、「安価」で「安定供給」可能
粒子形状コントロール技術をマグネシウム化合物以外へ展開可能



使用用途例

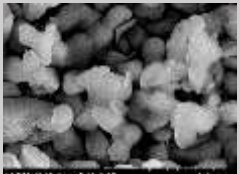
酸化マグネシウム
(スターマグ)



- ・プラスチック部品
- ・合成ゴム部品
- ・医薬用原薬、ミネラルサプリメント
- ・接着剤など



難燃水酸化マグネシウム
(マグシーズ)



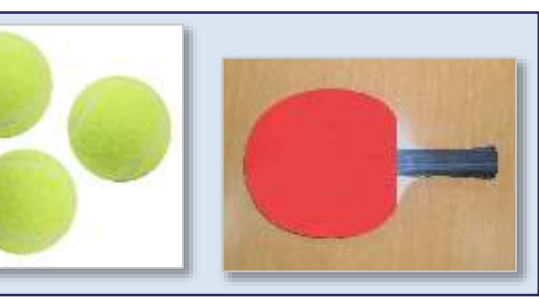
- ・エコ電線被覆材
- ・自動車・家電用電線被覆材など



炭酸マグネシウム



- ・天然ゴム製品
- ・プラスチック部品
- ・塗料、飼料など



<海水法による製造工程の一例(酸化マグネシウム)>

海水



精製



反応



洗浄



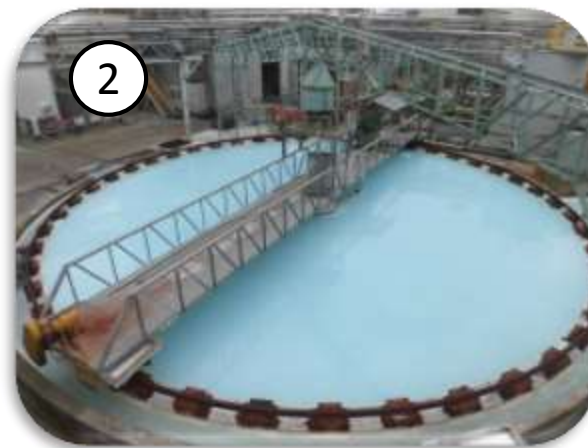
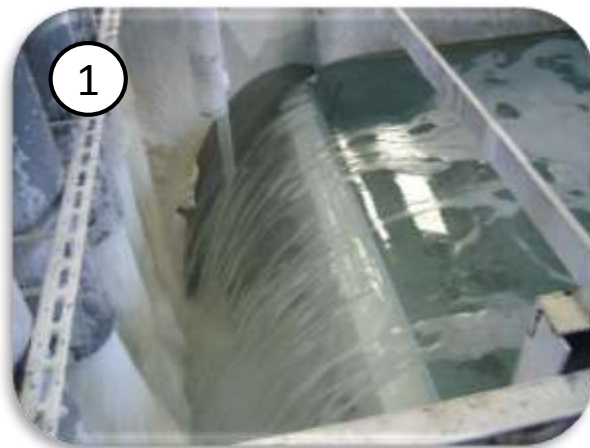
乾燥



焼成



製品



- ① 海水にアルカリを添加
[$\text{Mg}^{2+} + 2\text{OH}^- \Rightarrow \text{Mg}(\text{OH})_2$]
- ② 沈降分離槽で沈殿を回収
- ③ キルンで焼成
[$\text{Mg}(\text{OH})_2 + \text{熱エネルギー} \Rightarrow \text{MgO} + \text{H}_2\text{O}$]

※2016年10月にキルンを中心とした増産設備を導入

世界初「透明・大型セラミックス」の開発に成功

使用用途例

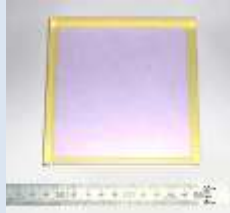
セラミックス



レーザー加工機、レーザーセンサー、シンチレーターなど

レーザー核融合発電（慣性核融合発電）

レーザーで水素の核融合反応を起こさせて、エネルギーを取り出す発電システム。
この研究開発は、当社のYAGセラミックスを使用



大出力レーザー用
大型YAGセラミックス

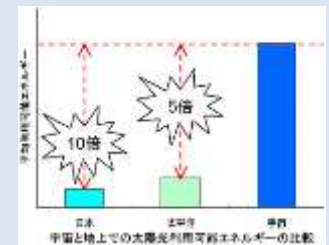
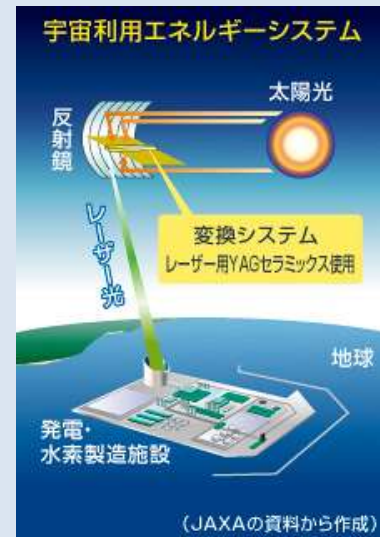


大阪大学 レザー科学研究所 右：ターゲットチャンパー 左：ビームライン

宇宙太陽光利用システム（SSPS）

ミラーで集光した太陽光でレーザー媒質を励起させてレーザー発振させる。

当社は、太陽光を効率よく励起させられるレーザー結晶の作製を、世界で初めて成功させた。（YAGセラミックス一部使用）



レーザー研究に関する動向

世界は超高出力(10PW)・高繰り返し(10Hz)へ
(セラミックスでしか到達できない領域へ)

世界の開発状況

◆ 日本

大阪大学のレーザー科学研究所や国内メーカー数社などが、国家プロジェクト(内閣府、NEDO、JST)で開発。

◆ アメリカ合衆国

Rochester大学やLivermore研究所で開発を進め、世界を牽引。

◆ EU (欧州連合)

連合各国で資金を出し合い、Hi laseやELIと呼ばれる二大プロジェクトを展開。
世界初の100J級セラミックレーザーを開発。大出力レーザー研究の牽引役となりつつある。

研究内容

物理学・量子学(フォトン・プラズマ等)の解明、MRI、レーザー核融合発電など



《主旨》

神島化学は、これまでの100年をその技術力を根底に発展しこの先も独自の技術開発を行う

これら技術力を培うベースとして100周年を記念しテクニカルセンターを建設

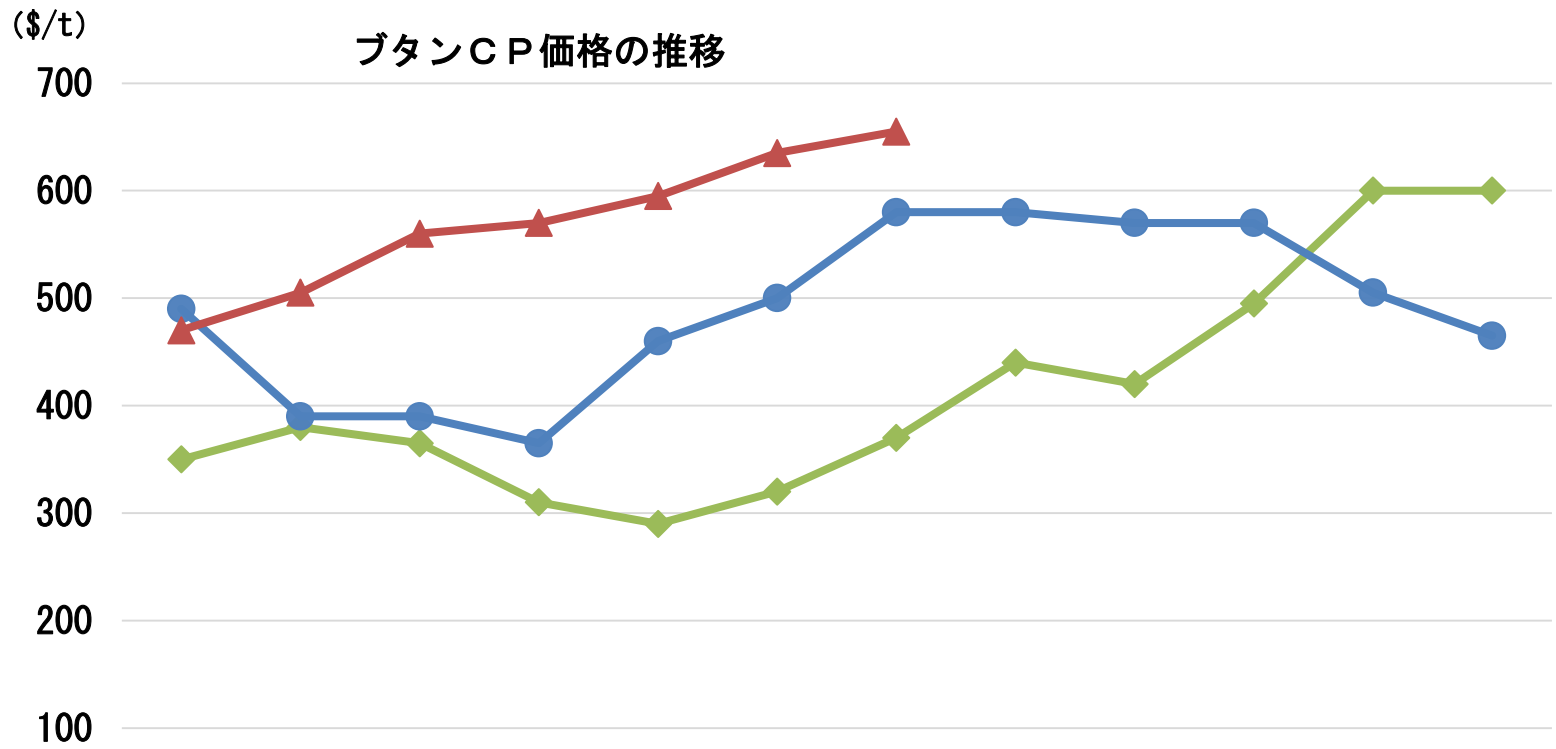
《方針・コンセプト》

- ① 市場要求対応
- ② 独自技術開発
- ③ 人材教育

《概要》

名 称	テクニカルセンター
総投資額	約12億円
完 成	2018年5月
建 設 地	香川県三豊市詫間町（第2工場）
延床面接	技術棟（3階建て）約2,400㎡ 試験場棟（1階建て）約2,000㎡

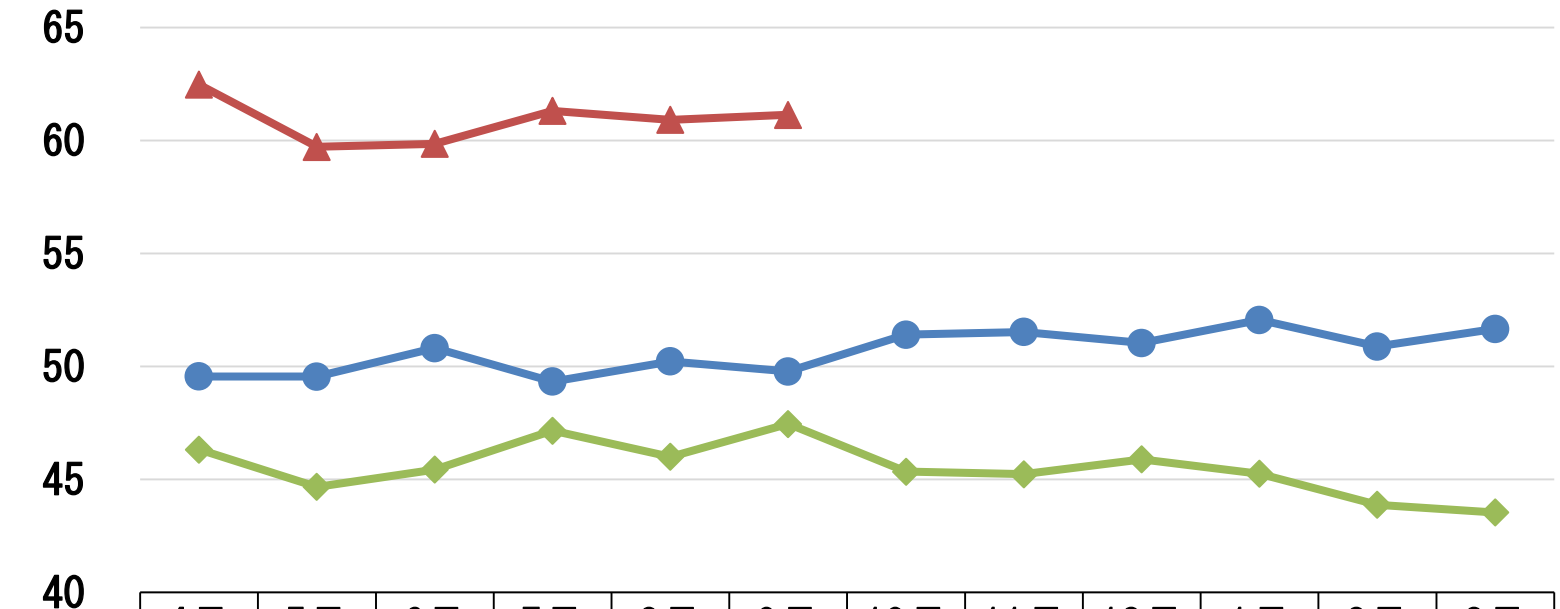
V-3.原材料市況価格の推移



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◆平成28年度	350	380	365	310	290	320	370	440	420	495	600	600
●平成29年度	490	390	390	365	460	500	580	580	570	570	505	465
▲平成30年度	470	505	560	570	595	635	655					

参考: サウジアラビアCP

(円/kg) 苛性ソーダ(液体97%換算・固形有姿)価格の推移



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◆平成28年度	46.3	44.7	45.4	47.2	46.0	47.5	45.3	45.2	45.9	45.3	43.9	43.5
●平成29年度	49.6	49.5	50.8	49.3	50.2	49.8	51.4	51.5	51.0	52.1	50.9	51.7
▲平成30年度	62.5	59.7	59.8	61.3	60.9	61.1						

参考: 経済産業省生産動態統計年報

地球の未来のために

神島化学ではECOで社会に貢献しています。

建築現場での建材ゴミの軽減に

工場での建材プレカット化を推進しています。
もちろん、カット端材は全てリサイクルしています。

リサイクル原料の使用

神島化学の建材は3種類のリサイクル原料を使用しており、
その割合は50%にもなります。

パレット・緩衝材のリサイクル使用

出荷したパレット・緩衝材は極力回収し、点検・補修を行った上で再使用しています。

住宅のメンテナンス費用を削減する建築材料

高耐久建材製品の開発に力を入れて、メンテナンス費用と回数の削減に一役買っています。

省エネ施工の建築材料

簡単取り付けの金具施工建材で建築現場での省エネに努めています。

